

- 問1 日本の工業地域の特色について述べた文のうち、瀬戸内工業地域における造船業の特徴を具体的に示したものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
1. 島や半島の多い入り組んだ地形を活かして、都市の臨海部でカーフェリーなどの船舶が建造されている。
 2. 神奈川県の大規模な製鉄所や石油化学コンビナートが立ち並び、原材料の加工が行われている。
 3. 愛知県を中心とした地域において、多くの関連工場が集まる中で世界的な規模の自動車生産が行われている。
 4. 北海道の石狩湾周辺において、広大な敷地を必要とする食料品加工業や製紙業が地域経済を支えている。
- 問2 東京都中央卸売市場におけるナスの月別入荷量を確認すると、群馬県産が夏から秋にかけて入荷のピークを迎えるのに対し、高知県産は1月から5月にかけて毎月1000トン以上の高い入荷量を示し、夏になると減少するという対照的な動きが見られます。高知県がこのような出荷計画を立てている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
1. 高知県は夏場の気温が非常に高くなるため、ビニールハウス内の温度管理が不可能になるから。
 2. 高冷地の涼しい気候を利用して、他の地域が生産できない冬場に栽培を集中させているから。
 3. 夏の台風被害を避けるため、あえて収穫時期を冬から春のみに限定しているため。
 4. 他の産地の出荷量が少ない時期に合わせることで、市場価格が高い時期に有利に販売するため。
- 問3 1980年から2019年までの島根県における観光客数の推移を、分析したとき、統計上見られる特徴として正しい説明はどれですか。（2026年 島根県公立入試 類似）
1. 県外からの観光客は長年減少傾向にあるが、外国人観光客の急増によって総数が過去最高を更新し続けている
 2. 観光客総数の増加は、主に県内居住者が県内各地を頻繁に訪れるようになったことで維持されている
 3. 高速道路が開通した年のみ一時的に観光客が増加するが、翌年には行事の有無に関わらず元の水準に戻っている
 4. 世界遺産登録などの大きな行事がある際、県外客が大幅に増えることで総数が押し上げられている
- 問4 日本の気候区分のうち、月ごとの降水量が年間を通して150ミリ以下と非常に少なく、気温は1月に5度程度、8月に28度程度を示す、温暖で少雨な特徴を持つ地域として正しいものを答えなさい。（2024年 広島県公立入試 類似）
1. 太平洋側の気候
 2. 北海道の気候
 3. 瀬戸内の気候
 4. 日本海側の気候
- 問5 山陰と南四国の気候の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）
1. 山陰では、冬に大陸から吹く北西の季節風の影響を受け、降水量（降雪量）が多くなる。
 2. 南四国では、冬に大陸から吹く北西の季節風の影響を受け、年間で最も降水量が多くなる。
 3. 南四国では、夏に大陸から吹く南東の季節風の影響を受け、冬に比べて降水量が非常に少なくなる。
 4. 山陰では、夏に太平洋から吹く南東の季節風の影響を受け、年間で最も降水量が多くなる。
- 問6 四国地方の県庁所在地の位置関係において、四国山地を境に他の3つの県庁所在地とは離れて太平洋側に位置し、かつて土佐藩の城下町として発展した都市はどこですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 徳島市
 2. 松山市
 3. 高松市
 4. 高知市
- 問7 中国地方の製造業について、広島県では自動車などの輸送用機械の出荷額が大きな割合を占めるのに対し、山口県では約1兆9,780億円に達する化学工業の出荷額が、県内の他業種や近隣県と比較しても突出して高いという特徴があります。このような山口県の工業の形態について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 都市近郊の立地を生かし、食料品加工や印刷業など、消費地に近い利点を最大限に活用した中小工場が密集している。
 2. 臨海部に石油精製所や化学工場などが集まり、原料や製品を効率的にやり取りする石油化学コンビナートが形成されている。
 3. 良質な鉄鉱石や石炭が近隣で産出されるため、それらを原料とした大規模な製鉄所を中心とする重工業が発展している。
 4. 内陸部の広大な用地に、電子部品や半導体を製造する先端技術産業の工場が高速道路沿いに集積している。
- 問8 中国地方の各県の特色について述べた文として正しいものはどれですか。なお、対象となる県はレモンの収穫量が全国シェアの61.7%を占める県とします。（2020年 長野県公立入試 類似）
1. 中国地方の西端に位置し、九州地方と隣接している。
 2. 中国地方の東端に位置し、近畿地方と隣接している。
 3. 中国地方の南側に位置し、瀬戸内海に面している。
 4. 中国地方の北側に位置し、日本海に面している。
- 問9 高知県ではなすの生産が盛んですが、東京市場におけるなすの卸売価格が「夏に安く、冬から春に高い」という傾向がある中で、高知県が冬から春に出荷を集中させている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）
1. 夏は台風の被害を受けやすいため、あえて価格の安い冬から春の時期に生産時期をずらして安定供給を図るため
 2. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため
 3. 冬から春はなすの需要が大幅に減少するため、供給量を増やすことで市場価格をさらに下げ、消費を拡大させるため
 4. 高知県の冬の寒冷な気候を利用して、時間をかけてゆっくりと育てることで、なすの品質を向上させるため
- 問10 日本の主要な農業県である北海道、秋田県、茨城県、愛媛県の4県について、農業産出額の品目別割合を比較したとします。このうち、主食である米の割合が低く、一方で果実の産出額が全体の約3分の1という極めて高い比率を示す県として正しいものを選びなさい。（2020年 岩手県公立入試 類似）
1. 茨城県
 2. 愛媛県
 3. 秋田県
 4. 北海道
- 問11 高知県では、沖合を流れる黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどの施設を用いてナスなどの野菜を栽培しています。このように、他の産地と出荷時期をずらし、通常の収穫期よりも早く栽培して出荷する農業の方法を何といいますか。（2017年 徳島県公立入試 類似）
1. 促成栽培
 2. 二毛作
 3. 有機農業
 4. 抑制栽培
- 問12 交通網の整備によって、ある地点から別の地点へ移動するために必要な時間が短くなることを「時間距離の短縮」といいます。1988年に瀬戸大橋が開通した際、本州の岡山駅と四国の高松駅の間で見られた変化の説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 香川県公立入試 類似）
1. 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。
 2. 移動にかかる時間は変わらなかったが、橋の完成による心理的な安心感から利用者が増加した。
 3. 交通手段が多様化したことで、移動時間に関わらず運賃が大幅に引き下げられた。
 4. 橋の建設によって海を埋め立てたため、両駅間の物理的な移動距離そのものが短縮された。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 島や半島の多い入り組んだ地形を活かして、都市の臨海部でカーフェリーなどの船舶が建造されている。	瀬戸内工業地域では、リアス海岸という自然条件を最大限に活用した産業展開が行われています。特に、人々の移動や物流に欠かせないカーフェリーなどの大型船舶を製造する造船所が、人口の多い都市に近い臨海部に立地しています。これにより、労働力の確保と輸送の利便性の両立を図りながら、関連産業を含めた一大集積地を形成しています。
問2	答え 4 他の産地の出荷量が少ない時期に合わせることで、市場価格が高い時期に有利に販売するため。	野菜の価格は、市場に出回る量（供給）と、それを欲しがる量（需要）のバランスで決まります。群馬県などの露地栽培が盛んな地域からナスが多く出荷される夏場は価格が下がりやすいため、高知県ではビニールハウスを用いて時期をずらすことで、競合が少ない冬から春の高値の時期に収益を確保する戦略をとっています。
問3	答え 4 世界遺産登録などの大きな行事がある際、県外客が大幅に増えることで総数が押し上げられている	島根県の観光動態を分析すると、県内居住者による観光客数は比較的安定した推移を示しています。これに対し、石見銀山の世界遺産登録や出雲大社の遷宮といった大規模な社会的トピックがある時期には、県外からの観光客が爆発的に増加しており、これが観光客総数のグラフにおける急激なピークを形成する主因となっています。これは地域の文化遺産が、広域からの集客力を高める重要な資源であることを示しています。
問4	答え 3 瀬戸内の気候	瀬戸内の気候は、北側を中国山地、南側を四国山地に挟まれているのが大きな特徴です。夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多い温暖な気候となります。これに対し、日本海側は冬に多雨（多雪）、太平洋側は夏に多雨となる傾向があります。
問5	答え 1 山陰では、冬に大陸から吹く北西の季節風の影響を受け、降水量（降雪量）が多くなる。	日本の気候は季節風（モンスーン）の影響を強く受けます。冬はユーラシア大陸側から北西の季節風が吹き、日本海を渡る際に水蒸気を蓄えるため、日本海側に位置する山陰では雪や雨が多くなります。一方で南四国は太平洋側に位置しており、夏に太平洋側から吹き込む湿った南東の季節風の影響を受けるため、夏に降水量が非常に多くなるのが特徴です。
問6	答え 4 高知市	高知県は四国山地によって瀬戸内海側の各県と隔てられており、その中心である高知市は太平洋に面した高知平野に位置しています。歴史的には山内一豊が入城して以来、土佐藩の城下町として政治・経済の中心地となってきました。温暖多雨な気候が特徴で、ビニールハウスを用いた野菜の促成栽培などの地理的特色も持っています。
問7	答え 2 臨海部に石油精製所や化学工場などが集まり、原料や製品を効率的にやり取りする石油化学コンビナートが形成されている。	山口県の瀬戸内海沿岸地域は、戦後の高度経済成長期に大規模な埋め立てが行われ、石油化学コンビナートが建設されました。これにより、原油の輸入からエチレンなどの基礎原料の製造、さらにはプラスチックなどの二次製品の生産までを一貫して行う体制が整っており、化学工業の出荷額が他業種に比べて圧倒的に多い産業構造となっています。広島県の輸送用機械や、岡山県の鉄鋼・石油化学など、瀬戸内工業地域は県ごとに特徴的な産業が集積しています。
問8	答え 3 中国地方の南側に位置し、瀬戸内海に面している。	レモンの収穫量1位である広島県は、中国地方の南側に位置し、瀬戸内海に面しています。この地域は「瀬戸内」と呼ばれ、温暖な気候を利用した果樹栽培が盛んです。選択肢にある「日本海側」は鳥取県や島根県、「西端」は山口県の説明であり、広島県の位置関係を正しく把握することが重要です。
問9	答え 2 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため	高知県は黒潮（日本海流）の影響で冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「促成栽培」によって、本来の収穫時期よりも早い冬から春になすを出荷しています。市場では供給が減るこの時期に卸売価格が高騰するため、そのタイミングを狙って出荷することで、農業経営の安定と高収益化を実現しています。
問10	答え 2 愛媛県	各都道府県の農業産出額には地域特性が強く現れます。秋田県は「米」の割合が非常に高く、茨城県は近郊農業を背景に「野菜」や「畜産」の割合が高くなります。また、北海道は広大な土地での「畜産」や畑作が中心です。これらに対し、温州みかんなどの生産が盛んな愛媛県は、果実が突出して高い割合を占める特徴的なグラフとなります。
問11	答え 1 促成栽培	高知県は冬でも温暖な気候に恵まれているため、その特性を活かして野菜の成長を早める栽培が盛んです。この方法は、他の産地が生産できない冬から春にかけて出荷することを目的としています。これに対し、長野県などの高冷地で夏でも涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問12	答え 1 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。	瀬戸大橋の開通は、それまで船舶に頼っていた本州と四国の間の移動を劇的に変化させました。1987年から1991年にかけてのJR岡山駅・高松駅間の定期券利用者数の推移を見ると、橋が開通した1988年を境に利用者が急増しています。これは「時間距離」が短縮されたことで、県境を越えた通勤や通学が現実的なものとなり、生活圏が一体化したことを示しています。物理的な「距離」は変わりませんが、交通網の整備によって「移動時間」という尺度の距離が縮まったことが重要なポイントです。